

講演会のご案内

日本アート評価保存協会では、若手コレクターの育成事業の一環として、アート業界で活躍する皆様を講師に迎え、スペシャルトークを開催しております。**一般の方もご参加いただけます。**

2017年

9月19日(火) 18:00～

大倉集古館 学芸部長

高橋 裕次 氏

料紙からみえるもの — 王朝の美とリサイクル —

料紙とは、用紙の意味で、たとえば仮名を書くための和紙は、仮名料紙とも呼ばれています。平成26年11月にユネスコ無形文化遺産に登録された「和紙」の技術には、世界的に優れたいくつもの特徴があります。染紙や金銀による装飾法は、すでに奈良時代に行われていますが、それがもっとも花開くのは平安時代です。なかでも着色した繊維を漉きかける打曇、飛雲、羅文や、さまざまに装飾した料紙を継ぎ合わせた継紙などの華麗な料紙装飾は、平仮名の発展にともなう日本独自の技法です。これらの装飾には、宮廷で使用した料紙をリサイクルした繊維を用いていることがわかります。こうした平安時代の料紙の美しさと、その特性についてお話をいたします。

高橋裕次 (たかはし・ゆうじ)

【略歴】

1957年 茨城県水戸市生まれ

1984年 中央大学大学院博士後期課程中退

1985年 文化庁美術工芸課文化財保護部書跡・典籍、古文書部門

2002年 より東京国立博物館歴史資料室長、情報課長、保存修復課長などを経て、

現在 公益財団法人大倉文化財団 大倉集古館学芸部長 専門は史料学、博物館史。

主な論文に

「東京国立博物館所蔵文書に見る料紙の変遷について」

(『古文書料紙論叢』湯山賢一編 勉誠出版(株)、2017)、

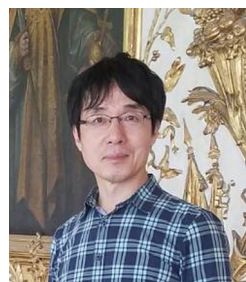
「宮廷文書典籍料紙の特性と保存 (Characteristic and

Conservation of The Imperial Court documents

paper)」『International Conference<Documentary

Cultures of East and West, Past and Present>』韓国学

中央研究院、2016) など



申込方法

事務局まで直接お問い合わせ下さい。

(メール) info@ja2pa.or.jp

(電話) 03-3569-1250

※電話受付時間 平日 10:00~18:00

聴講料

500円 ※要申込み

会場

東京都千代田区有楽町2-10-1

東京交通会館8階

〒100-0006

東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館8階

TEL 03-3569-1250 FAX 03-3569-1251 info@ja2pa.or.jp <http://ja2pa.or.jp>



一般社団法人 日本アート評価保存協会